

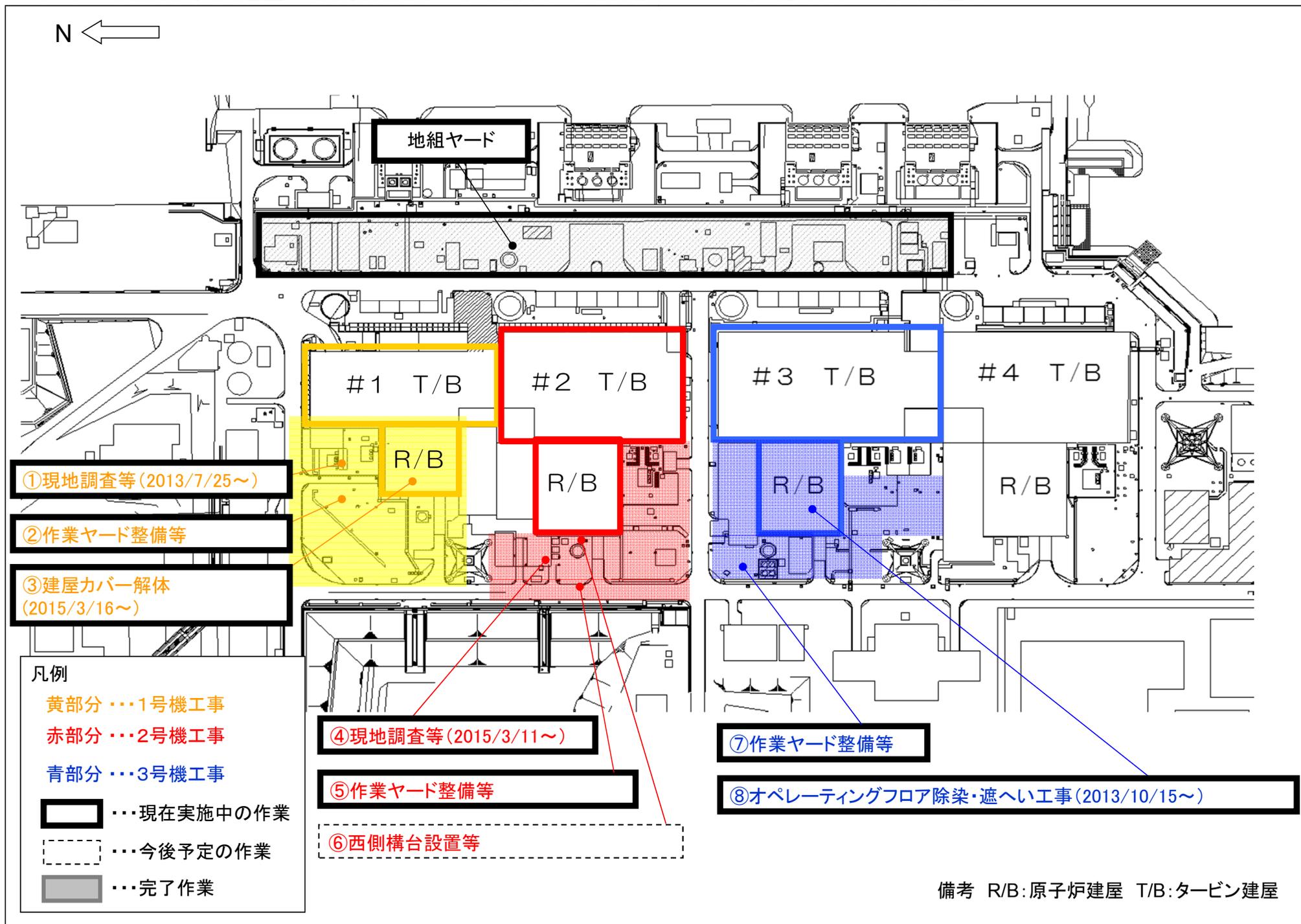
使用済燃料プール対策 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	6月		7月					8月			9月			10月	備考
				26	3	10	17	24	31	7	14	下	上	中	下	日		
カバ	燃料取り出し用カバーの 詳細設計の検討 原子炉建屋上部の 瓦礫の撤去 燃料取り出し用カバーの 設置工事	1号機	(実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・作業ヤード整備 ・原子炉建屋カバー解体 (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・作業ヤード整備 ・原子炉建屋カバー解体	検討・設計 基本設計 ガレキ状況調査結果等の分析・評価、ガレキ撤去計画の継続検討 ①現地調査等('13/7/25~) ②作業ヤード整備等 ③原子炉建屋カバー解体('15/3/16~) 現場作業 散水設備設置(試運転調整(噴霧試験等含む)) 小ガレキ吸引													【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択:'14/10 →プール燃料取り出しに特化したプランを選択 ・原子炉建屋カバー解体再開:'15/3/16 ・屋根パネル外し:'15/7/28~10/5完了 ・支障鉄骨等撤去:'15/11/9~16/2/3完了 ・散水設備設置:'16/2/4~16/6/30完了 ・小ガレキ吸引:'16/5/30~ ・壁パネル取り外し前飛散防止剤散布:'16/8/上 ・壁パネル取り外し:'16/9/上 【クレーン不具合対応状況】 ・交換ジブ手配中(#2) ・オイルクーラー交換:'16/7/2完了(#1) ※○番号は、別紙配置図と対応	
		2号機	(実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・作業ヤード整備等 (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・作業ヤード整備等 ・西側構台設置等	検討・設計 基本検討 ④現地調査等 現場作業 ⑤作業ヤード整備等 周辺建屋解体、路盤整備(地表面の汚染低減を含む)等 ⑥西側構台設置等														【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択:2017年度まで継続検討 ・ヤード整備工事の着手:'15/3/11~ ※○番号は、別紙配置図と対応 【規制庁関連】 ・西側外壁開口設置 実施計画変更認可申請(2016/6/7)
		3号機	(実績) ・作業ヤード整備 ・オペレーティングフロア除染・遮へい工事 (予定) ・作業ヤード整備 ・オペレーティングフロア除染・遮へい工事	検討・設計 (3号燃料取り出し用カバー) 詳細設計、関係箇所調整 現場作業 (3号瓦礫撤去) ⑦作業ヤード整備等 ⑧オペレーティングフロア除染・遮へい工事('13/10/15~) 遮へい工事														【主要工程】 ○除染・遮へい: ・オペレーティングフロア大型がれき撤去完了:'13/10/11 ・オペレーティングフロア除染・遮へい準備工事:'13/7/9~13/12/24 ・オペレーティングフロア除染・遮へい工事:'13/10/15~ ・A工区遮へい体設置(第1期):'16/4/12~16/4/22(第2期)'16/8/8~ 8/9 ・B工区遮へい体設置:'16/7/13~7/25完了 ・C工区遮へい体設置:'16/7/11~ ・D工区遮へい体設置:'16/7/27~
燃料 取扱 設備	クレーン/燃料取扱機の 設計・製作 プール内瓦礫の撤去、 燃料調査等	1号機	(実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討	検討・設計 基本検討 現場作業													【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択:2014年10月 →プール燃料取り出しに特化したプランを選択 ・ガレキ撤去計画継続検討	
		2号機	(実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討	検討・設計 基本検討														【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択:2017年度まで継続検討
		3号機	(実績) ・クレーン/燃料取扱機の設計検討 (予定) ・クレーン/燃料取扱機の設計検討	検討・設計 クレーン/燃料取扱機の設計検討 現場作業														【規制庁関連】 ・クレーン・燃料取扱機ほか 実施計画変更認可申請(2014/6/25) 実施計画変更認可申請の一部補正(2015/4/28) 実施計画変更認可申請の一部補正(2015/10/8)

使用済燃料プール対策 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	6月		7月					8月			9月			10月	備考
				26	3	10	17	24	31	7	14	下	上	中	下			
キャスク製造	構内用輸送容器の製造	(実績) ・構内用輸送容器製造中 (予定) ・構内用輸送容器製造中	調達・移送	構内用輸送容器の製造 (2017年下期頃完成予定)														
				→														
	輸送貯蔵兼用キャスク・乾式貯蔵キャスクの製造	(実績) ・乾式キャスク製造中 (予定) ・乾式キャスク製造中	調達・移送	29基目	→ (2017年1月頃完成予定)													
				30基目	→ (2017年2月頃完成予定)													
				31基目	→ (2017年3月頃完成予定)													
				32基目	→ (2017年4月頃完成予定)													
				33基目	→ (2017年6月頃完成予定)													
				34基目	→ (2017年7月頃完成予定)													
				35基目	→ (2017年7月頃完成予定)													
				36基目	→ (2017年9月頃完成予定)													
37基目	→ (2017年11月頃完成予定)																	
・28基目までは使用済燃料乾式キャスク仮保管設備に設置済み																		
共用プール	共用プール燃料取り出し 既設乾式貯蔵キャスク点検	(実績) (予定)	検討・設計															
				現場作業														
仮キャスク保管設備	乾式キャスク仮保管設備の設置	(実績) (予定)	検討・設計															
				現場作業														
研究開発	使用済燃料プールから取り出した 燃料集合体の長期健全性評価	(実績) ・燃料集合体の長期健全性評価技術開発 (予定) ・燃料集合体の長期健全性評価技術開発	検討・設計		【燃料集合体の長期健全性評価技術開発】 (湿式保管評価)													
				照射材材料調査														
				→														
				(乾式保管評価) 乾式保管時の燃料健全性確認試験														
未照射材/照射材試験片加工																		
→																		
現場作業																		

1, 2, 3号機 原子炉建屋上部瓦礫撤去工事 燃料取り出し用カバー工事 他 作業エリア配置図



福島第一原子力発電所 3号機原子炉建屋 オペレーティングフロア除染・遮へい工事の進捗状況

2016.07.28

TEPCO

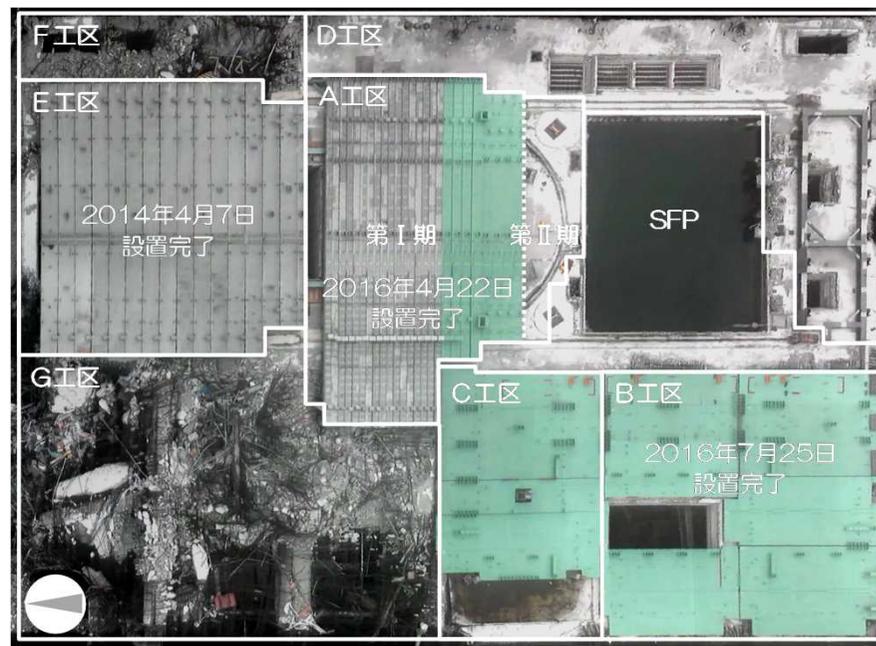
東京電力ホールディングス株式会社

1. オペレーティングフロアの線量低減策の進捗状況

- 燃料取り出し用カバー設置、燃料取り出し用設備設置工事は、できる限り無人重機による施工・作業を目指すものの、一部は有人作業となる。このため、除染及び遮へい体設置により、有人作業が実施可能なレベルまでオペレーティングフロア（以下、オペフロ）の線量低減を図る必要がある。
- 除染は、2013年10月に着手。2015年10月に実施した γ スペクトル測定結果で、散乱線の寄与が大きく、オペフロ上の主要線源はオペフロ表面ではない場所にあると推定されることから、除染から遮へいに移行する段階にあると判断。
 - 2016年3月7日にA・B・C工区の除染が完了、6月10日にD工区の除染が完了（全工区完了）。
 - 遮へい体設置は、2014年4月にE工区、2016年4月にA工区の一部の設置が完了し、2016年7月11日からC工区、7月13日にB工区、7月27日にD工区を開始。B工区は7月25日に設置完了。



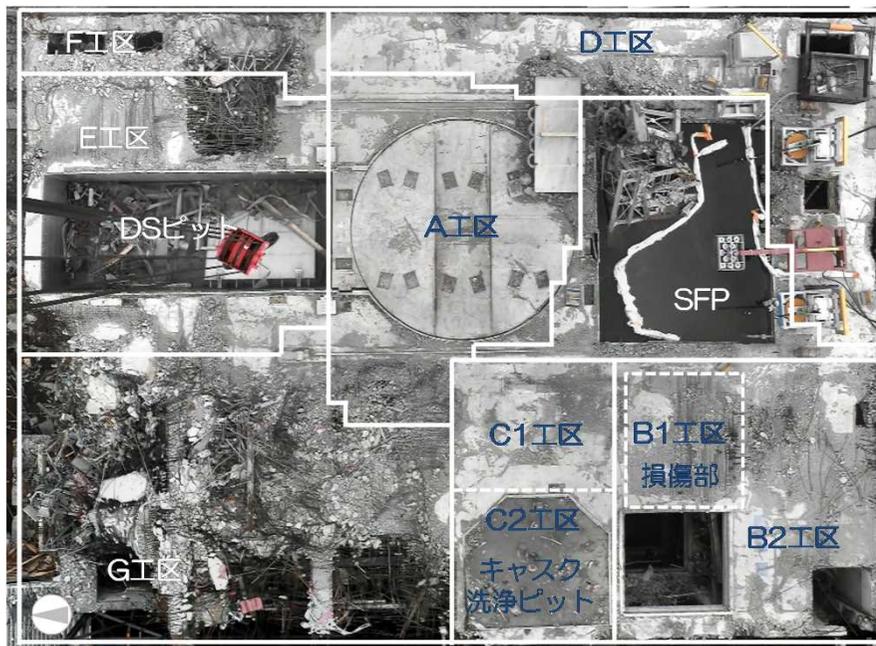
オペフロ大型瓦礫撤去着手前（撮影日2011年3月24日）



遮へい体設置進捗状況（撮影日:2016年7月26日）

2. 除染概要(1/2)

- 各工区の除染方法を示す。



線量低減工区
(撮影日2014年1月31日)

青字：除染対象工区を示す

除 染 方 法

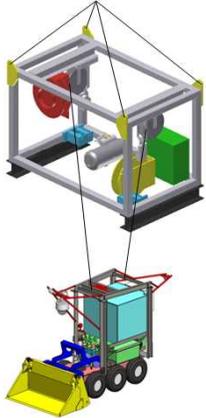
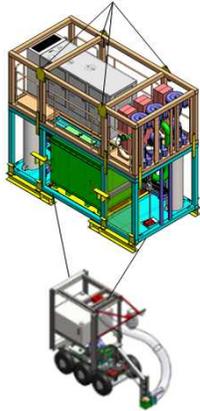
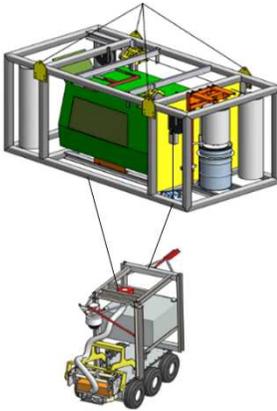
- A工区：集積→吸引→機械式はつり
- B工区：集積→吸引→高圧水はつり
- C工区：集積→吸引→高圧水はつり→泡除染(C2工区のみ)
- D工区：集積→吸引→新燃料貯蔵庫蓋撤去

以下の工区は除染対象外

- E工区：DSピット内瓦礫は撤去せずとも遮へい体設置のみで有人作業エリアへの線量寄与を低減できると判断
- F工区：躯体の崩落が著しく除染が行えないと判断
- G工区：躯体の崩落が著しく除染が行えないと判断

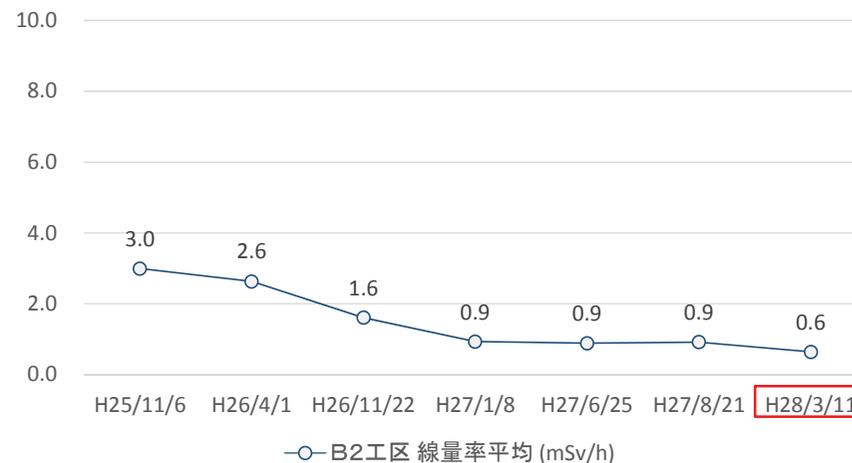
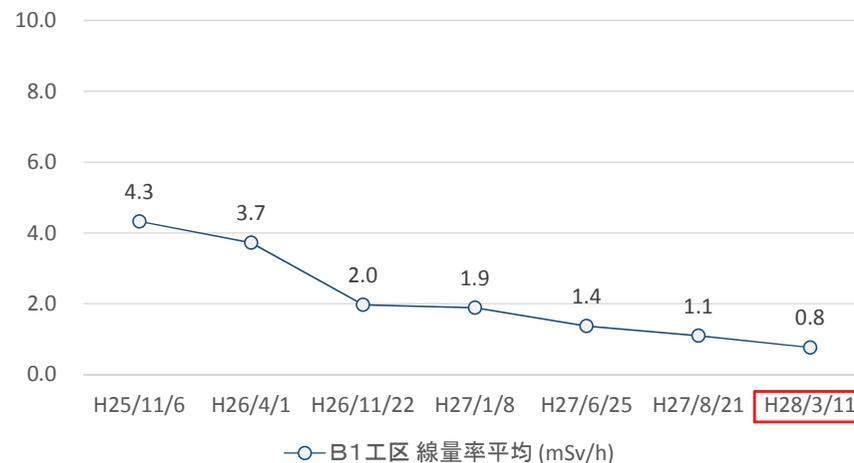
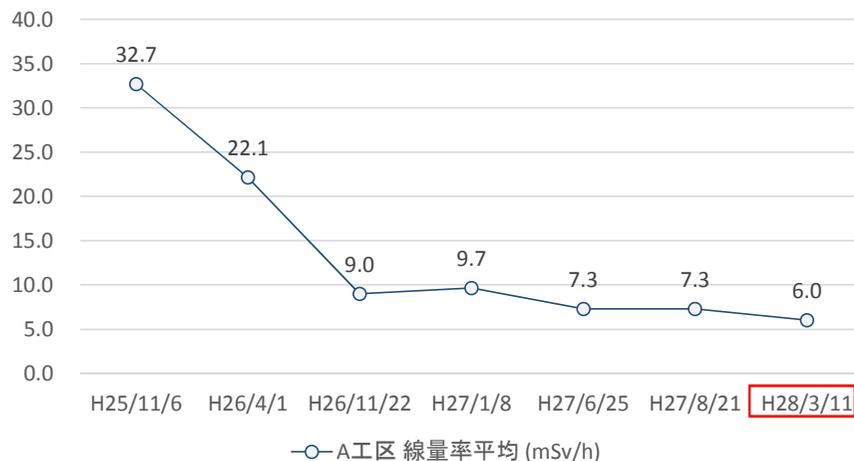
2. 除染概要(2/2)

■ 遠隔操作式除染装置を示す。

除染方法	①集積	②吸引	③吸引	④機械式はつり	⑤高圧水はつり	⑥泡除染
外観						
除染機能	バケットでは回収できない小型瓦礫の集積	小型瓦礫および粉塵の吸引	②の代替機	躯体健全箇所の表層はつり	躯体不健全箇所の表層はつり	酸性泡剤にキレート剤を含ませた除染剤を散布して錆部を溶解し、セシウムを除去
除染能力	集積最大重量 300kg 自走式(20m ³ /h)	吸引瓦礫最大径 100mm 自走式(10m ³ /h)	吸引瓦礫最大径100mm 定置式	はつり最大厚1.6mm 自走式(3m ³ /h)	はつり最大厚5.0mm 定置式	

3. 除染による線量率の推移(1/2)

- オペフロ床面+0.5m高さ線量測定結果の除染対象工区(A・B・C・D)毎平均を示す。

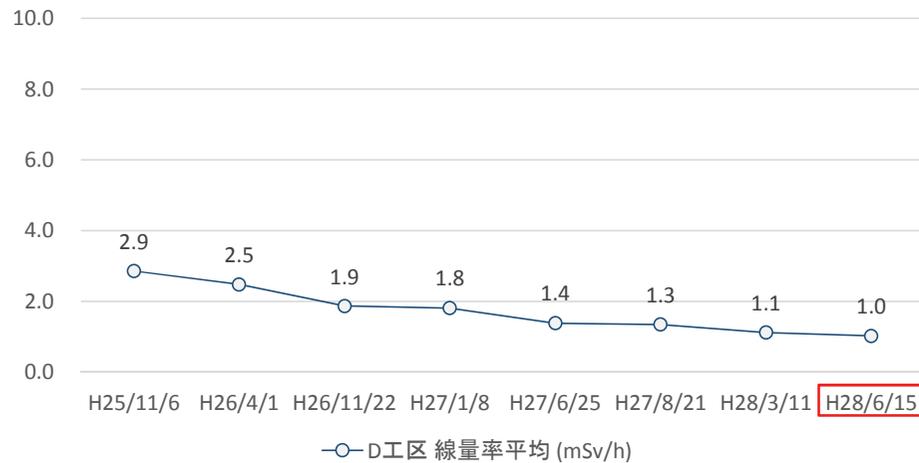
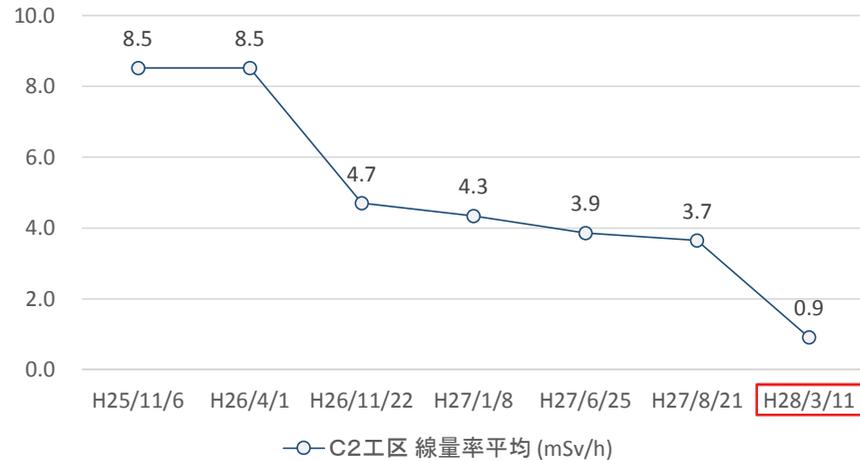
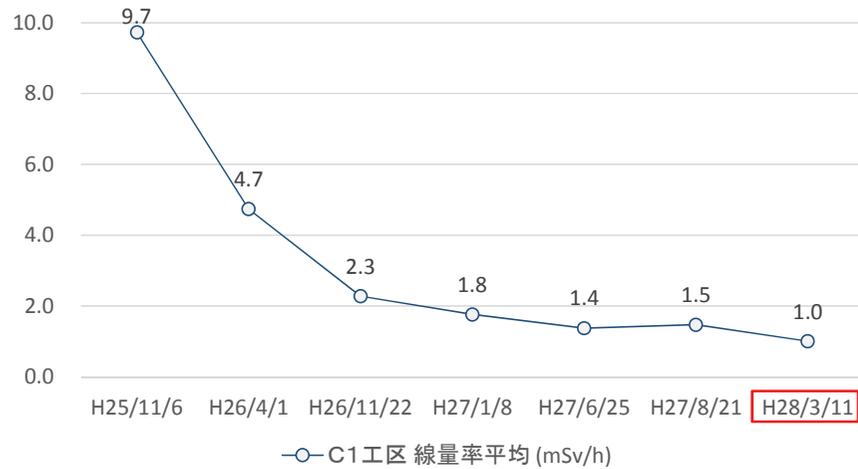


H28/3/11 除染完了後の線量測定日を示す

コリメート線量測定器検出部の遮へいにより実際の線量率は図中の数値（指示値）の約10倍の値となる

3. 除染による線量率の推移(2/2)

- オペフロ床面+0.5m高さ線量測定結果の除染対象工区(A・B・C・D)毎平均を示す。

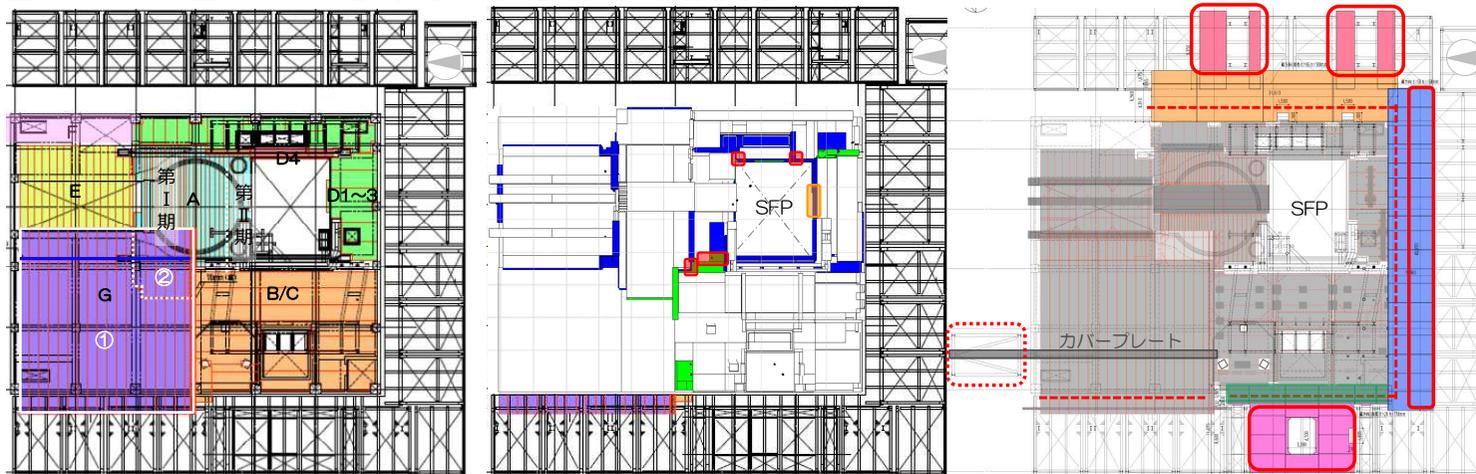


 除染完了後の線量測定日を示す

コリメート線量測定器検出部の遮へいにより実際の線量率は図中の数値（指示値）の約10倍の値となる

4. 遮へい体設置計画

- 遮へい体は、大型遮へい体・補完遮へい体・構台間遮へい体の3種類に分類される。
- 設置方法については、補完遮へい体・構台間遮へい体の設置作業の一部でオペフロ上の有人作業があるものの、ほとんどの作業はクレーンを遠隔操作して行われる。
- 遮へい体設置順序を以下に示す
 - 大型遮へい体 E工区⇒A工区第Ⅰ期⇒C工区⇒B工区⇒D工区⇒A工区第Ⅱ期⇒G工区⇒構台間⇒F工区
 - 補完遮へい体設置は、上記期間と並行して実施予定。



凡例	厚さ	遮へい効果 (設計目標)
A	鉄板250mm	1/1000 以上
D1~3	鉄板200mm	1/100 以上
E	鉄板150mm	1/50 以上
D4	鉄板100mm	1/10 以上
B/C	鉄板65mm	1/6 以上
G	鉛毛マット16枚重ね ※鉛毛マット下地材：鉄板32mm ※図中①：下地材 + 鉛毛マット 図中②：下地材のみ 下地材の下に鉄板250mm敷設	①1/90 以上 ②1/1000 以上
F	鉛毛マット16枚重ね	1/90 以上
—	鉄板70mm (縦方向設置)	1/6 以上

大型遮へい体

凡例	材質	遮へい効果 (設計目標)
■	鉄板	1/10 以上
■	鉄板	1/100 以上

■ 有人作業による設置箇所(隙間5~20cm箇所)
材質：鉛板マット

■ 有人作業による設置箇所(チャンネル着脱器上部)
材質：鉛毛マット

補完遮へい体

凡例	厚さ	遮へい効果 (設計目標)
■	鉄板65mm	1/6 以上
■	鉄板50mm	1/5 以上
■	鉄板28mm	1/3 以上

■ 有人作業箇所(覆工板撤去)

--- 有人作業箇所(既設手摺撤去)

□ 有人作業箇所(G工区北側架構接続)

構台間遮へい体

5. 今後のスケジュール

- 今後、A工区第Ⅱ期、G工区の順で大型遮へい体を設置予定

西暦	2016					
月	4	5	6	7	8	9
除染	D工区					
大型遮へい体	A工区第Ⅰ期		地組	地組	A工区第Ⅱ期	
			地組	C工区		
				B工区		
				地組	D工区	
					G工区北側架構	G工区
補完遮へい体						
線量測定						

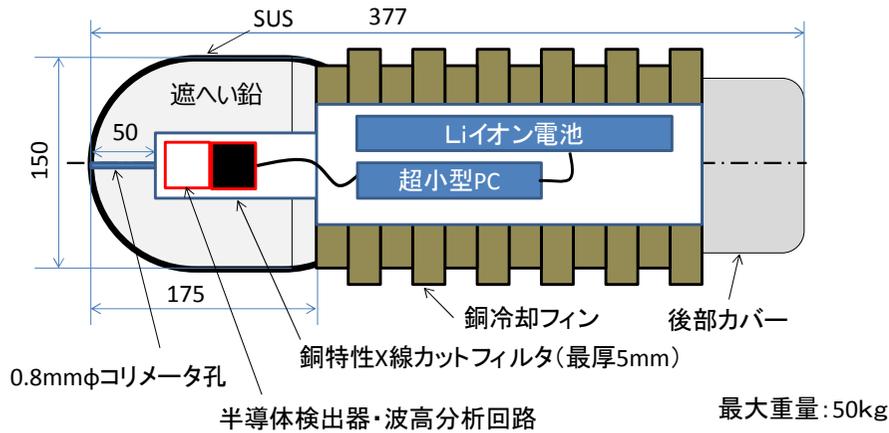
他作業との干渉等により、工程は変更になる可能性がある

参 考 资 料

【参考】γ線スペクトル測定結果に基づく遮へい体設置への移行判断(1/2) TEPCO

- オペフロ上の線量を与える線源について、Cs以外の核種の存在有無、主線源がオペフロ表面にあるか否か（主線源が表面になれば表面除染よりも遮へいが有効）を確認するため、γ線スペクトル測定(測定日2015年10月20日～21日)を実施した。

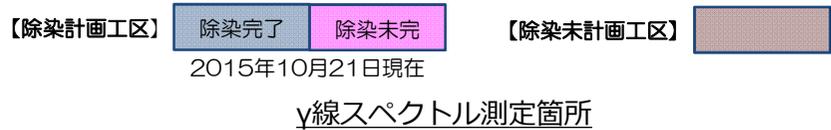
● 測定器の構造（内部に半導体検出器、PC等をセット）



※つり上げ架台に測定器を下向きに固定



○：スペクトル測定箇所(計24箇所) 尚、⑥⑫⑯⑳はシールドプラグ継ぎ目部に位置する



【参考】 γ 線スペクトル測定結果に基づく遮へい体設置への移行判断(2/2)

■ 核種の定性

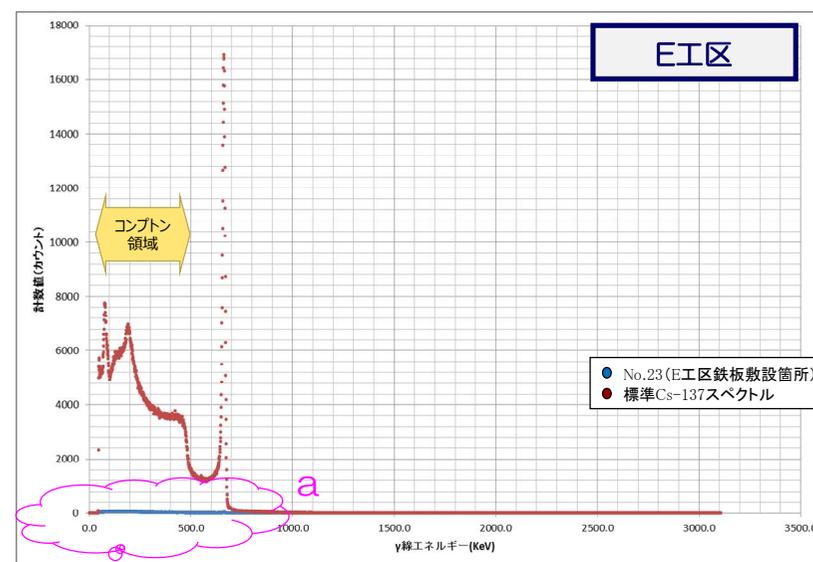
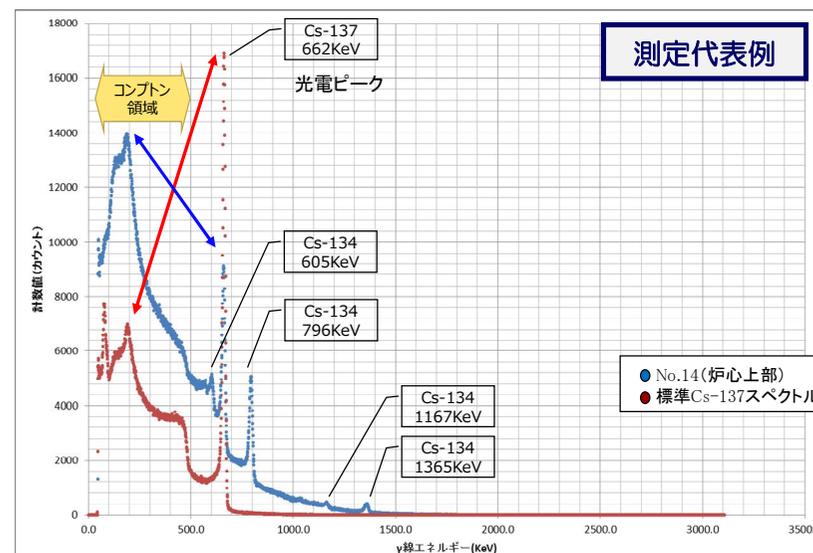
- オペフロ上のスペクトル(青線)は、いずれの測定ポイントにおいてもCs-134とCs-137の光電ピークが検出し、それ以外の核種は検出しなかった。
 - 現行の遮へい体設置計画や被ばく線量評価は、Csベースで設計、評価しており、その妥当性を確認。

■ 線源位置の推定

- 散乱線は、エネルギーの低い領域(コンプトン領域)に観測される。コンプトン領域とCsの光電ピークの高さを比較した結果、オペフロ上の測定結果(青線)は、Cs-137のピーク高さよりもコンプトン領域が高いため、散乱線の寄与が大きいことが分かる。
 - オペフロ上の主線源は、オペフロ表面ではない場所にあると推定。
 - 更なる線量低減を図るにはオペフロ表面を除染するよりも遮へいに移行する段階にあると判断。

■ 遮へいの効果

- 遮へいにより散乱線(右下図中aのコンプトン領域)が大幅に低減していることを確認した。
 - 散乱線の寄与が大きい場所は、現状の設計よりも遮へい効果が大きくなると考えられる。



【参考】 コリメート線量測定装置

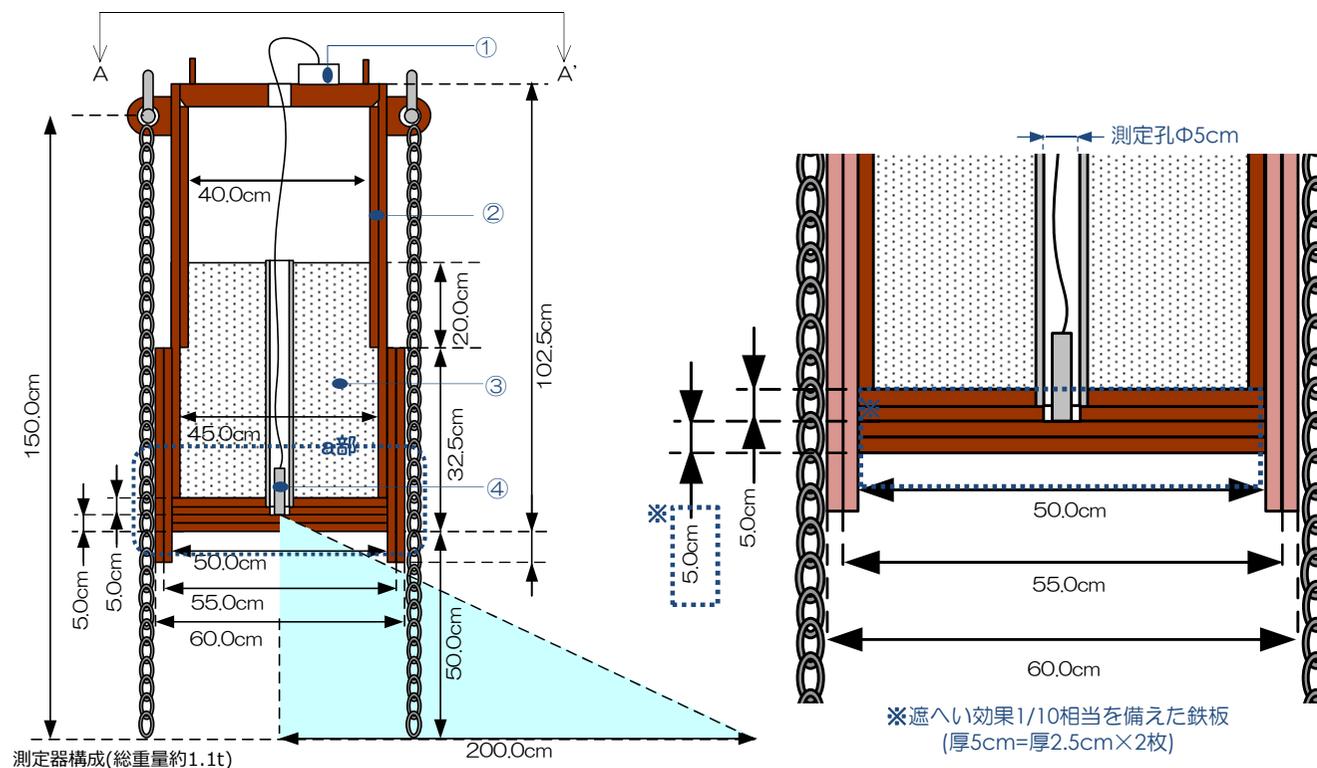
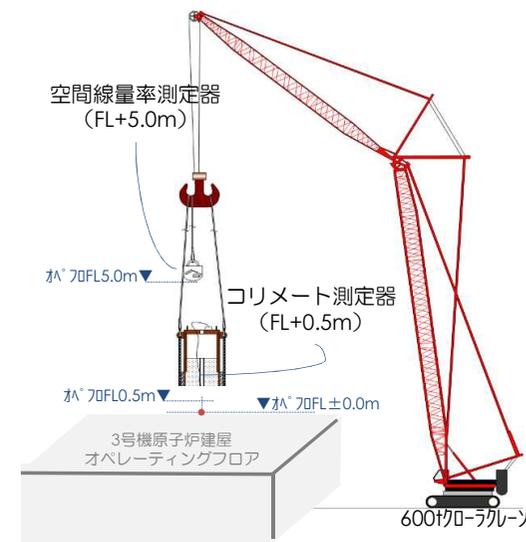


測定器構成

- コリメータ容器に無線式線量計（有効測定範囲0.1~1,000mSv/h）を格納する。尚FL+5.0m位置の空間線量率も併せて測定する。

遮へい効果

- 高線量箇所の測定においては、無線式線量計の有効測定範囲を逸脱する可能性がある。そのため、容器底面部に厚5cmの鉄板(遮へい効果1/10相当)を備えて、無線式線量計の測定値を有効測定範囲内に減衰させる。

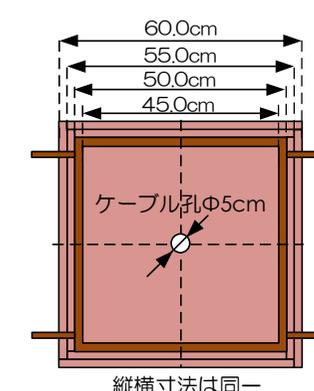


測定器構成(総重量約1.1t)
 ①電源・送信機箱 ②コリメータ容器(銅製) ③コンクリート充填剤 ④無線式線量計
コリメート線量測定器

※遮へい効果1/10相当を備えた鉄板
 (厚5cm=厚2.5cm×2枚)

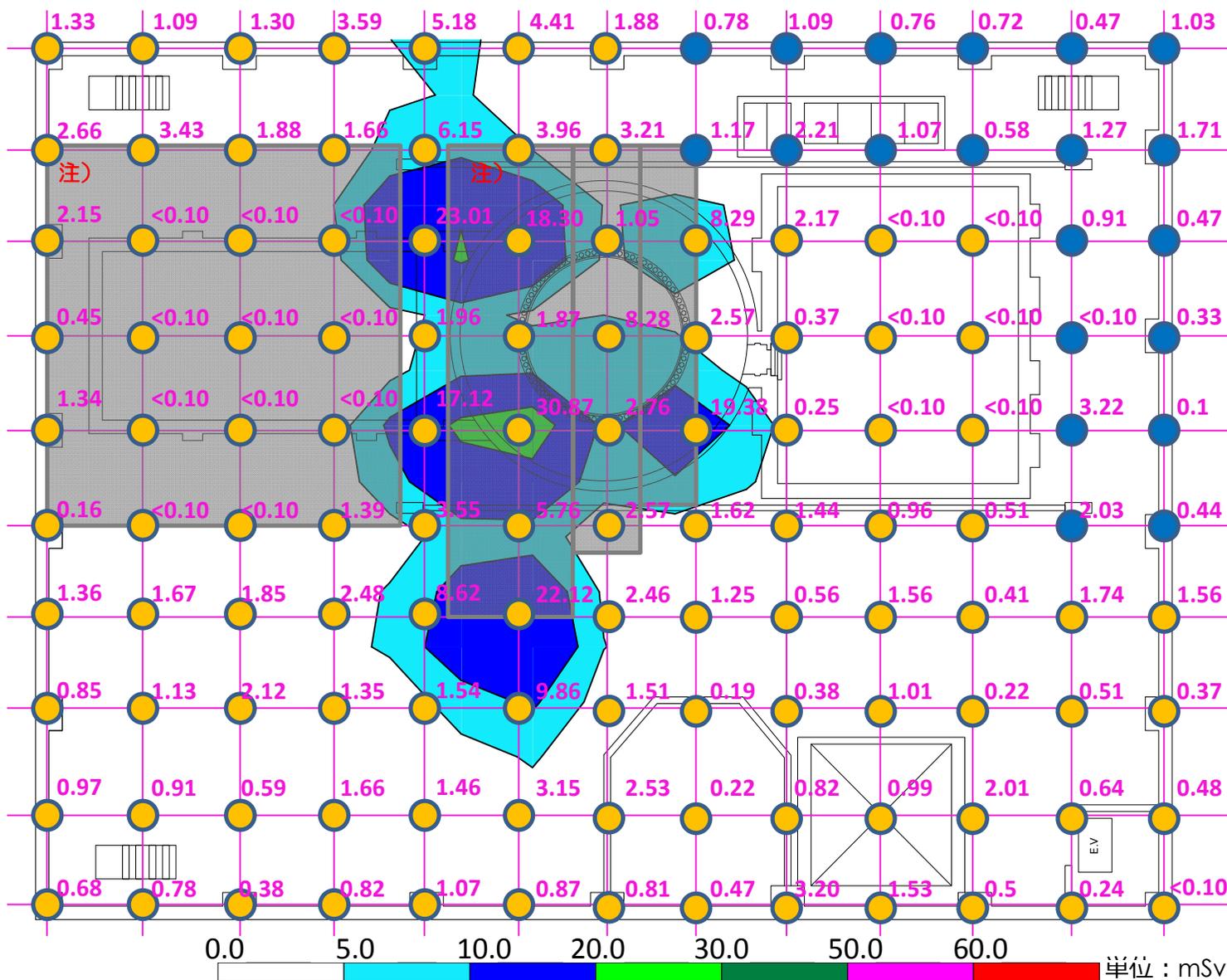
a部拡大図

測定イメージ



A-A'矢視図

【参考】線量測定結果（オペフロ床面+0.5m高さ）



コリメート線量測定器検出部の遮へいにより実際の線量率は図中の数値（指示値）の約10倍の値となる

■ 遮へい体設置完了箇所

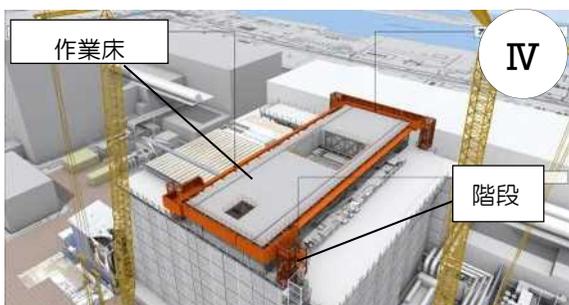
測定日
 ● 2016/3/8~2016/3/11
 ● 2016/6/15

注)
 ● A工区測定結果は遮へい体第I期設置前のものである。
 ● E工区測定値は遮へい体設置後のものである。

単位：mSv/h

【参考】燃料取り出し用カバー・燃料取扱設備等の設置手順イメージ

- ステップⅠのオペフロ遮へい体設置までは、遠隔操作による無人作業を計画。
- ステップⅡ～Ⅲは、遮へい体の上が主な作業場所となり、ステップⅣ以降は、オペフロ+約6m高さでの作業が主な作業場所となる。



1、3号機飛散防止剤散布実績及び予定

2016年7月28日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 定期散布

	1号機	3号機
目的	オペレーティングフロア（以下、オペフロ）上へ飛散防止剤を定期的に散布し、ダストの飛散抑制効果を保持させることを目的とする。	
頻度	1回/月	
標準散布量	1.5L/m ² 以上	
濃度	1/10	
散布範囲	<p>【凡例】 : 散布範囲</p>	<p>【凡例】 : 散布範囲</p>
散布面積	1,234m ²	541m ²

2.作業時散布

	1号機	3号機
目的	オペフロ上での（建屋カバー解体や除染等）作業に応じて、飛散防止剤を散布し、ダストの飛散を抑制することを目的とする	
標準散布量	1.5L/m ² 以上	
濃度	1/10	
散布対象作業	<ul style="list-style-type: none">・屋根パネル外し・支障鉄骨撤去・壁パネル外し 等	<ul style="list-style-type: none">・遮へい体干渉物撤去・遮へい体設置 等

3. 定期散布の実績及び予定

	計画（7月）	実績（7月）	計画（8月）
1号機	散布日：7月16日 	散布日：7月16日 	散布日：8月23日
3号機	散布日：7月8日 	散布日：7月7日 	散布日：8月8日

【凡例】 ：計画散布範囲 ：実績散布範囲

平成28年7月27日時点

4.作業時散布の実績及び予定（1号機）

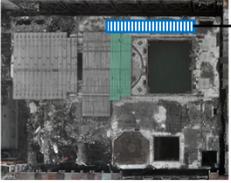
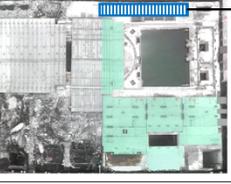


								当該週の散布範囲	
6月	日	26 (日)	27 (月)	28 (火)	29 (水)	30 (木)	1 (金)	2 (土)	-
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.40E-4 (最大) ND (最小)	9.79E-5 (最大) ND (最小)	9.80E-5 (最大) ND (最小)	7.91E-5 (最大) ND (最小)	1.10E-4 (最大) ND (最小)	1.21E-4 (最大) ND (最小)	1.73E-4 (最大) ND (最小)	
7月	日	3 (日)	4 (月)	5 (火)	6 (水)	7 (木)	8 (金)	9 (土)	-
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.50E-4 (最大) ND (最小)	1.38E-4 (最大) ND (最小)	1.54E-4 (最大) ND (最小)	1.55E-4 (最大) ND (最小)	1.99E-4 (最大) ND (最小)	1.54E-4 (最大) ND (最小)	1.24E-4 (最大) ND (最小)	-
	日	10 (日)	11 (月)	12 (火)	13 (水)	14 (木)	15 (金)	16 (土)	
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-	-
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.21E-4 (最大) ND (最小)	1.96E-4 (最大) ND (最小)	1.96E-4 (最大) ND (最小)	1.31E-4 (最大) ND (最小)	1.25E-4 (最大) ND (最小)	1.27E-4 (最大) ND (最小)	1.53E-4 (最大) ND (最小)	
	日	17 (日)	18 (月)	19 (火)	20 (水)	21 (木)	22 (金)	23 (土)	
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-		
平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-		
連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	2.07E-4 (最大) ND (最小)	1.25E-4 (最大) ND (最小)	1.80E-4 (最大) ND (最小)	2.10E-4 (最大) ND (最小)	1.57E-4 (最大) ND (最小)	2.03E-4 (最大) ND (最小)	1.36E-4 (最大) ND (最小)		
8月	日	24 (日)	25 (月)	26 (火)	27 (水)	28 (木)	29 (金)	30 (土)	-
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.71E-4 (最大) ND (最小)	2.08E-4 (最大) ND (最小)	1.64E-4 (最大) ND (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	-
	日	31 (日)	1 (月)	2 (火)	3 (水)	4 (木)	5 (金)	6 (土)	
	散布対象作業	-	-	-	-	壁パネル外し	壁パネル外し	壁パネル外し	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-	-	
連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)		

※1 表記の連続ダストモニタ計測値は速報値、ND=不検出

平成28年7月27日時点

4.作業時散布の実績及び予定 (3号機)

								当該週の散布範囲
日	26 (日)	27 (月)	28 (火)	29 (水)	30 (木)	1 (金)	2 (土)	
6月	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-
	平均散布量 (L/m2・回) ※1	-	-	-	-	-	-	-
	連続ガストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※2	2.85E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.37E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.58E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.56E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.87E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.82E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.64E-5 (最大) ND※3 (最小)
日	3 (日)	4 (月)	5 (火)	6 (水)	7 (木)	8 (金)	9 (土)	-
散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
平均散布量 (L/m2・回) ※1	-	-	-	-	-	-	-	
連続ガストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※2	3.69E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.00E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.35E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.64E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.43E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.56E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.16E-5 (最大) ND※3 (最小)	
日	10 (日)	11 (月)	12 (火)	13 (水)	14 (木)	15 (金)	16 (土)	 16日
散布対象作業	-	-	-	-	-	-	遮へい体干渉物 撤去作業	
散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	50	
平均散布量 (L/m2・回) ※1	-	-	-	-	-	-	前: 2.5 後: 2.5	
連続ガストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※2	3.31E-5 (最大) ND※3 (最小)	5.48E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.46E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.87E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.00E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.46E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.00E-5 (最大) ND※3 (最小)	
日	17 (日)	18 (月)	19 (火)	20 (水)	21 (木)	22 (金)	23 (土)	 17日、 18日
散布対象作業	遮へい体干渉物 撤去作業	遮へい体干渉物 撤去作業	-	-	-	-	-	
散布面積合計 (m2)	50	50	-	-	-	-	-	
平均散布量 (L/m2・回) ※1	前: 2.5 後: 2.5	前: 2.5 後: 2.5	-	-	-	-	-	
連続ガストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※2	3.68E-5 (最大) ND※3 (最小)	1.98E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.69E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.2E-5 (最大) ND※3 (最小)	1.55E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.53E-4 (最大) ND※3 (最小)	2.97E-5 (最大) ND※3 (最小)	
日	24 (日)	25 (月)	26 (火)	27 (水)	28 (木)	29 (金)	30 (土)	-
散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
平均散布量 (L/m2・回) ※1	-	-	-	-	-	-	-	
連続ガストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※2	2.84E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.68E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.68E-5 (最大) ND※3 (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	
日	1 (日)	2 (月)	3 (火)	4 (水)	5 (木)	6 (金)	7 (土)	-
散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
平均散布量 (L/m2・回) ※1	-	-	-	-	-	-	-	
連続ガストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※2	(最大) (最小)							

※1 平均散布量は作業前、作業後に分けて記載

※2 表記の連続ガストモニタ計測値は速報値

※3 ND=不検出

平成28年7月27日時点

【1号機原子炉建屋カバー解体工事】

■ 6月30日（木）～7月27日（水）の主な作業予定

- ・ 資機材整備
- ・ 飛散防止剤の定期散布
- ・ ダストサンプリング
- ・ オペフロ小ガレキ吸引（支障物撤去含む）

□ 今月



全景(北西面)
撮影：H28.7.11

□ 作業進捗



小ガレキ吸引状況
撮影：H28.7.7

■ 7月28日（木）～8月31日（水）の主な作業予定

- ・ 資機材整備
- ・ 飛散防止剤散布の定期散布
- ・ 壁パネル取り外し前飛散防止剤散布
- ・ ダストサンプリング
- ・ オペフロ小ガレキ吸引（支障物撤去含む）

■ 備考

- ・ なし

以 上

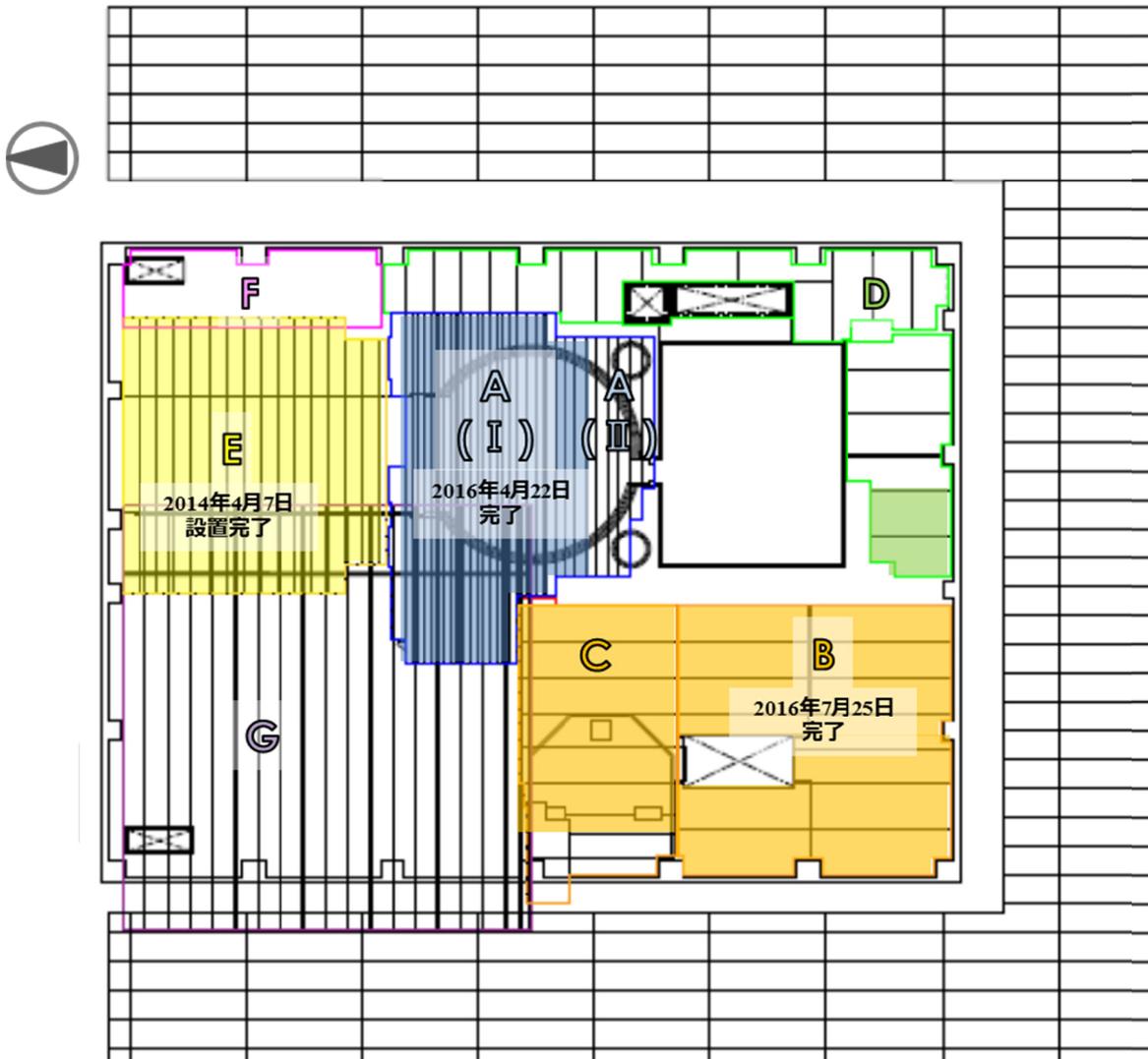
3号機原子炉建屋オペフロ遮へい体設置工事

■ 7月の主な作業実績

- 2016年7月13日～同年7月25日 B工区遮へい体設置
- 2016年7月11日～ C工区遮へい体設置
- 2016年7月27日～ D工区遮へい体設置

■ 8月の主な作業予定

- 2016年8月上旬 A工区第Ⅱ期、C工区、D工区遮へい体設置完了
- 2016年8月下旬 G工区遮へい体設置開始



3号機原子炉建屋オペフロ遮へい体設置状況

(2016年7月27日時点)

使用済燃料等の保管状況

保管場所	保管体数(体)				取出し率	(参考) H23.3.11時点	備考
	使用済燃料プール		新燃料貯蔵庫	合計			
	新燃料	使用済燃料	新燃料				
1号機	100	292	0	392	0.0%	392	
2号機	28	587	0	615	0.0%	615	
3号機	52	514	0	566	0.0%	566	
4号機	0	0	0	0	100.0%	1,535	
5号機	168	1,374	0	1,542	0.0%	1,542	・H23.3.11時点の体数は炉内含む
6号機	198	1,456	230	1,884	0.0%	1,704	・H23.3.11時点の体数は炉内含む ・使用済燃料プール保管新燃料のうち180体は4号機新燃料
1～6号機	546	4,223	230	4,999	21.3%	6,354	

保管場所	保管体数(体)			保管率	(参考) 保管容量	備考
	新燃料	使用済燃料	合計			
キャスク仮保管設備	0	1,412	1,412	48.2%	2,930	キャスク基数28(容量:50基)
共用プール	24	6,702	6,726	98.9%	6,799	ラック取替工事実施により当初保管容量6,840体から変更

	保管体数(体)		
	新燃料	使用済燃料	合計
福島第一合計	800	12,337	13,137

